



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社アイビス 上場取引所 東
 コード番号 9343 URL <https://www.ibis.ne.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神谷 栄治
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部門担当 (氏名) 安井 英和 (TEL) 052-587-5007
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト、個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	1,765	—	239	—	229	—	139	—
2022年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年12月期第2四半期	43.21		41.26					
2022年12月期第2四半期	—		—					

- (注) 1. 2022年12月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年12月期第2四半期の数値、対前年同四半期増減率及び2023年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 当社は、2023年3月23日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2023年12月期第2四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	1,844	1,130	61.1
2022年12月期	1,289	431	33.3

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 1,127百万円 2022年12月期 428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,590	5.7	300	36.6	292	22.7	202	20.2	59.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年12月期 2 Q	3,622,160株	2022年12月期	2,788,783株
2023年12月期 2 Q	一株	2022年12月期	一株
2023年12月期 2 Q	3,228,103株	2022年12月期 2 Q	一株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 2022年12月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年12月期第2四半期の期中平均株式数を記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、2023年12月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、2023年3月22日付で払込完了した公募（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行に伴う公募増資分（700,000株）、2023年4月24日に払込完了したオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資（127,500株）及び新株予約権の行使による影響を考慮し算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症における行動制限の緩和等により経済活動における正常化の動きが進みました。しかしながら、不安定な国際情勢によるエネルギー・原材料価格の高騰や世界的な金融引き締め政策等による懸念材料が見込まれるほか、新型コロナウイルス感染症の第9波が台頭し始めるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社はモバイルペイントアプリ『ibisPaint』を提供するモバイル事業及びIT技術者派遣と受託開発を行うソリューション事業の事業拡大を図ってまいりました。モバイル事業においては、『ibisPaint』の継続的な改善と新機能の追加に注力し、ユーザにとって魅力のある製品を開発し続け、全世界でのシェア拡大に取り組んでまいりました。ソリューション事業においては、企業のDX化を背景にIT人材の社会的需要が高まっており、取引先への営業活動を積極化するとともに派遣技術者の採用を強化してまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高1,765,072千円、営業利益239,002千円、経常利益229,362千円、四半期純利益139,499千円となりました。

事業セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

<モバイル事業>

当第2四半期累計期間におきましては、主製品であるモバイルペイントアプリ『ibisPaint』シリーズについて、アプリ上の新機能や様々な改善・仕様変更等に対応した最新バージョン（Ver. 10.0.7からVer. 10.1.4まで）のリリースや、第19～28回素材コンテストの開催及び様々な無料素材の新規追加、YouTubeお絵かき講座での継続的な動画投稿等により、2023年1月にシリーズ累計ダウンロード数が3億に達し、2023年6月末時点では3億3,314万件（前年同期比29.7%増）となりました。特に、2023年5月10日にVer. 10.1.0でリリースしたAI超解像度機能は、2017年にリリースした「AI自動色塗り機能」に続く2つ目のAI（人工知能）機能であり、ユーザから大変好評をいただいております。また、サブスクリプション型（月額課金・年額課金）のプレミアム会員数は78,599人（前年同期比44.7%増）、売切型アプリの累計販売数は853,001件（前年同期比66.5%増）となり、順調に拡大しております。当セグメントにおいて主な収入源となっているアプリ広告は、広告単価が軟調に推移したものの、効果的な広告投資を行ったことにより、モバイル事業の売上高は1,009,333千円、セグメント利益は365,646千円となりました。

売上区分別の国内売上高及び海外売上高は以下のとおりです。

		当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	
		金額(千円)	構成比(%)
アプリ広告	国内売上高	198,187	26.9
	海外売上高	537,751	73.1
	計	735,938	100.0
アプリ課金 (サブスクリプション + 売切型アプリ)	国内売上高	94,098	35.0
	海外売上高	175,121	65.0
	計	269,219	100.0
その他	国内売上高	3,423	82.0
	海外売上高	750	18.0
	計	4,174	100.0
合計	国内売上高	295,709	29.3
	海外売上高	713,623	70.7
	計	1,009,333	100.0

<ソリューション事業>

当第2四半期累計期間におけるIT技術者派遣につきましては、技術者派遣の需要が想定以上に増加したことから、高スキルの技術者を中心に、情報通信関連やサービス関連の企業等への派遣が進みました。受託開発については、情報通信関連企業等において、モバイルアプリやWebアプリケーション、業務システム等への開発ニーズが高まっております。以上の結果、売上高は755,738千円となり、内訳としては、IT技術者派遣が652,861千円、受託開発が102,877千円となりました。当第2四半期累計期間も、引き続き人材投資を積極的に推進したことから、セグメント利益は53,008千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は1,844,622千円となり、前事業年度末に比べ555,333千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が529,941千円、投資その他の資産が23,004千円増加した一方で、流動資産その他が29,725千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は714,431千円となり、前事業年度末に比べ143,493千円の減少となりました。これは主に、未払金が157,661千円、長期借入金が19,389千円減少した一方で、未払法人税等が23,442千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は1,130,190千円となり、前事業年度末に比べ698,827千円の増加となりました。これは、株式上場による新株式の発行等により資本金及び資本剰余金がそれぞれ279,664千円増加するとともに、四半期純利益139,499千円を計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は1,124,706千円となり、前事業年度末と比較して529,941千円増加となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は85,463千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益229,362千円の計上及び未払金の減少192,755千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は81,585千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出41,486千円、差入保証金の差入による支出21,732千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の増加は526,063千円となりました。これは主に、株式の発行による収入551,586千円、長期借入金の返済による支出19,389千円等があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の業績予想につきましては、2023年3月23日公表の「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」から変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	594,765	1,124,706
売掛金及び契約資産	373,053	382,289
貯蔵品	268	253
その他	84,728	55,002
流動資産合計	1,052,816	1,562,253
固定資産		
有形固定資産	9,516	16,609
無形固定資産	90,982	106,782
投資その他の資産	135,971	158,976
固定資産合計	236,471	282,369
資産合計	1,289,288	1,844,622
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	34,380	34,380
未払金	509,422	351,761
未払法人税等	72,741	96,184
賞与引当金	58,203	66,959
その他	82,043	77,247
流動負債合計	756,791	626,533
固定負債		
長期借入金	74,744	55,355
役員退職慰労引当金	20,241	26,634
その他	6,148	5,909
固定負債合計	101,133	87,898
負債合計	857,924	714,431
純資産の部		
株主資本		
資本金	95,925	375,589
資本剰余金	93,526	373,190
利益剰余金	239,362	378,861
株主資本合計	428,813	1,127,640
新株予約権	2,550	2,550
純資産合計	431,363	1,130,190
負債純資産合計	1,289,288	1,844,622

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,765,072
売上原価	660,110
売上総利益	1,104,961
販売費及び一般管理費	
賞与引当金繰入額	7,399
役員退職慰労引当金繰入額	5,917
退職給付費用	979
広告宣伝費	337,280
その他	514,382
販売費及び一般管理費合計	865,958
営業利益	239,002
営業外収益	
為替差益	1,734
受取報奨金	2,364
その他	1,203
営業外収益合計	5,302
営業外費用	
株式交付費	7,741
上場関連費用	6,134
その他	1,066
営業外費用合計	14,942
経常利益	229,362
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税引前四半期純利益	229,362
法人税、住民税及び事業税	88,298
法人税等調整額	1,565
法人税等合計	89,863
四半期純利益	139,499

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	229,362
減価償却費	31,091
支払利息	1,066
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△9,236
棚卸資産の増減額(△は増加)	15
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,756
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,393
株式交付費	7,741
契約負債の増減額(△は減少)	5,482
未払金の増減額(△は減少)	△192,755
未払法人税の増減額(△は減少)	7,885
その他	63,297
小計	159,102
利息の支払額	△896
法人税等の支払額	△72,741
営業活動によるキャッシュ・フロー	85,463
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△12,498
無形固定資産の取得による支出	△41,486
差入保証金の差入による支出	△21,732
保険積立金の積立による支出	△2,245
その他	△3,623
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,585
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△19,389
株式の発行による収入	551,586
その他	△6,134
財務活動によるキャッシュ・フロー	526,063
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	529,941
現金及び現金同等物の期首残高	594,765
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,124,706

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年3月23日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場にあたり、2023年3月22日を払込期日とする公募(ブックビルディング方式による募集)による新株式700,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ235,060千円増加しております。

また、2023年4月24日を払込期日とする第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)による新株式127,500株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ42,814千円増加しております。

さらに、当第2四半期累計期間において新株予約権の権利行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,789千円増加しております。

これらの結果、当第2四半期会計期間末において、資本金が375,589千円、資本剰余金が373,190千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	モバイル事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,009,333	755,738	1,765,072	—	1,765,072
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,009,333	755,738	1,765,072	—	1,765,072
セグメント利益	365,646	53,008	418,654	△179,651	239,002

(注) 1. セグメント利益の調整額△179,651千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第2四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	モバイル事業	ソリューション事業	
アプリ広告	735,938	—	735,938
サブスクリプション	135,202	—	135,202
売切型アプリ	134,016	—	134,016
IT技術者派遣	—	652,861	652,861
受託開発	—	102,877	102,877
その他	4,174	—	4,174
顧客との契約から生じる収益	1,009,333	755,738	1,765,072
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,009,333	755,738	1,765,072